

2019

1月

北房通信



平成31年1月1日発行 北房振興局 TEL0866-52-2111

北房振興局からのお知らせや管内のできごとなどを不定期で発信します。

田舎ステイで北房を満喫！ ～北房農泊モニターツアー～



地元の方のお接待を受ける参加者(中央)

12月1～2日、外国人に北房の田舎体験をしてみようモニターツアーが行われました。北房農泊推進協議会の主催で、今回は日本の文化や北房の風習を体験してもらおうプログラム。初日は、お寺で瞑想や写経などを体験し、夜には畑で採った野菜を自分たちで料理して、囲炉裏での団らんを楽しみました。2日目には、北房に

現在も残る風習の「お大師巡り」を模擬体験。巡ったのは5か所だけでしたが、地元の方の協力で「お接待」も体験でき、参加者はいただいたお菓子を手に満足そうでした。

今回のモニターは関西に滞在中の欧米人が高速バスを利用して参加。昨年度から実施しているモニターツアーで大阪からの高速バスが好評で、協議会では、この高速バスを使ったツアープランの商品化を目指しています。



▲写経の百字偈(げ)を体験



▲瞑想する参加者

自分で採った野菜を天ぷらにしてみました▶



花見も楽しめる公園にしよう！ ～北房観光協会・桜植樹～

12月26日、北房観光協会がもみじ公園に桜の苗を植えました。見晴らしの良いもみじ公園で花見を楽しんでもらえるようにと、同協会が昨年度から計画的に取り組んでいる事業。この日は、協会役員がソメイヨシノ10本とカワヅサクラ10本の計20本の桜を園内に植樹しました。

もみじ公園は、アウトドア活用でだんだんと来園者が増えており、北房の観光スポットとして注目されるようになっていきます。現在は

冬季閉園中ですが、春には花見やキャンプでにぎわいを見せるようになるはず。



桜の苗を植樹する観光協会役員の皆さん

14万球のLEDが広場に点灯！ ～ハート広場イルミネーション～

12月15日、コスモス広場にイルミネーションが点灯しました。『イルミっていいね！倶楽部』の取り組みで、「イルミネーションで明るいまちを」とのコンセプトで始めて今年で3年目。約14万球のLEDを使ってハートなどの立体的なオブジェを作り、冬の夜に美しい光の空間を浮かび上がらせています。今年は4000本のペットボトルを使ったタワーが新たにお目見え。入り口の通路を抜けると見える高さ10メートルの光の造形は迫力満点です。

今年は飲食ブースも設備充実。ホタルうどんやラーメン、ホットドリンクなどで来場者の体を温めています。

イルミネーションの点灯は夕暮れから夜の9時30分ごろまで。期間は2月14日までで、約2か月間にわたって北房の冬の空を照らし続けます。心も体も癒されに、北房のイルミネーションを見に行ってみませんか。

会場中央にそびえるペットボトルタワー▶



入口通路。来場者のメッセージも飾られています



三百年余の伝統

北房ぶり市

2019年
2月3日
日曜日

毎年2月の第1日曜日は「北房ぶり市」の日です。ぶり市は300年以上の歴史を誇る北房の伝統行事。現在でもぶり市の日は大賑わい。商店街の通りには食べ物や植木、金物など昔ながらの露店がずらりと並び、「ぶり小屋」と呼ばれるぶりの販売所の前には大勢の人だかりができます。雑煮の中にもぶりの切り身が入った、ご当地ならではの「ぶり雑煮」を求めて遠方からやってくる人も。「ぶり市の風にあたりと風邪をひかない」ともいわれる縁起の良い行事です。ぜひお越しください。

ステージイベント（主なもの）

- 9:25～ ぶりっ子ダンス
- 10:00～ ぶり市許可状伝達式（オープニング）
- 10:45～ 第1回福もち投げ
- 12:20～ 代官とジャンケンポン大会 ★ぶりが当たる！
- 14:40～ まにぞう君とジャンケンポン大会 ★ぶりが当たる！
- 15:00～ 第2回福もち投げ
（備中神楽、太鼓、獅子舞、郷土芸能なども随時ステージで行います）

- 地酒や手作りの味！ご当地ならではの出店も多数並びます！
- 車の駐車は北房振興局、または北房小学校へ

※当日は大変込み合います。ご来場はお早めに